

商工觀光部

商工課

課長 小口 一夫

事務事業評価票

事務事業名	こだわりのある商店街づくり事業
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	こだわりのある商店街づくり事業費

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み	個店、商店街の国際化支援	
基本施策(個別目標)	512	中心市街地の賑わいの創出	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

多くの来街者や観光客が訪れる魅力ある商店街づくりのため、個性ある集客イベントや共同で行う販売促進活動を行う商店街団体等に対し、経費の一部を支援するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 商店街まちおこし事業
個性ある誘客イベント事業(事業費が50万円以上)に対し、開催に要する経費の1/3を支援
実績 7件
(主な事業)
・本町あめ市
・ナワテ通り商店街まちおこし事業(水辺のマルシェなど)
・浅間温泉新そば祭り など

2 商店街活動強化事業
共同で行う販売促進活動に要する経費の1/3を支援
実績 14件
(主な事業)
・中町商店街振興組合 英会話学習会(インバウンド対応)
・村井町商工親和会 地酒「夢来」の販売促進事業
・六九商和会 六九クラフトストリート など

3 商店街賑わい創出事業
歩行者天国を実施する誘客イベントに要する経費の1/2を支援
実績 2件

商店街の魅力を発信し、集客や販売促進に繋げる取組みに対し、継続的な支援を行っている。毎年、新たな事業が生まれる一方で、長期間に渡り、補助金交付を受けている事業があることから、事業を個店の売上向上に繋げるものに見直すことで、自走可能な事業としていくための支援が必要である。

< 指標の達成状況 >

	総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
成果指標(指標名)	商店街活動振興事業補助件数					
指標の設定理由	魅力ある商店街づくりに対する取組みの指標となるため					
目標値	31	28	27	24	30	
実績値	23	21	20	23		
達成度	74.2%	75.0%	74.1%	95.8%	-	
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	7,273	7,180	6,703	6,876	7,950					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,273	7,180	6,703	6,876	7,950					
人件費(千円)	5,383	5,313	2,642.5	3,040						
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	2,642.5	0.35	3,040	0.4		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	12,656	12,493	9,346	9,916	7,950					
前年度比	-	98.7%	74.8%	106.1%	-					

事務事業評価票

事務事業名	中小企業振興
-------	--------

< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	中小企業振興費

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5 地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	個店、商店街の国際化支援
基本施策(個別目標)	522	商業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
中小企業者の商工業振興を図ることを目的に、業況動向の把握、職業訓練及び経営指導事業等を実施するもの		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >	
1 景気動向調査	松本市における産業・中小企業の業況や環境の変化などの基本情報を収集し、行政及び関係機関の商工業振興施策の方向づけと、経営支援・企業の経営改善の参考とするもの ・景気動向調査 12回/年、特別調査 2回/年
2 中小企業能力開発学院事業	中小企業の経営改善及びその従業員の資質向上を目的として、事業展開等に必要な専門知識、技能を習得させるための職業訓練等を実施する費用に対し支援するもの ・実績 17コース
3 小規模企業指導事業	市内小規模事業者の経営改善及び経営発達支援を積極的に行うため、商工団体が実施する伴走型の経営指導事業に対し支援するもの ・R元実績 経営指導員による巡回指導 3,411件 窓口指導 3,927件 創業支援 358件 講習会開催による集団指導 188回(3,060名受講) 個別指導 152回(339名受講) 金融あっせん 73件、事務代行420件

< 現状に対する認識 >
〔国〕 H26年度 小規模企業振興基本法を制定し、小規模事業者支援法を改正 【改正点】 経営発達支援事業を商工会議所・商工会の役割に位置付け R元年度 小規模事業者支援法を改正 【改正点】 商工会議所・商工会は、市と共同で経営発達支援計画を作成 中小企業支援における商工会議所・商工会の役割は、法的な根拠のもと順次拡充されており、市も共同で支援計画の作成段階から関わることが求められている。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	経営発達支援計画事業計画策定件数				
指標の設定理由	支援結果を表す数値であるため				
目標値	200	200	200	200	230
実績値	197	154	209	206	
達成度	98.5%	77.0%	104.5%	103.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >									
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
事業費(千円)	17,290	17,648	17,651	17,585	21,610				
国・県									
利用者負担金									
その他									
一般財源	17,290	17,648	17,651	17,585	21,610				
人件費(千円)	3,845	3,795	1,888	2,280					
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	1,888	0.25	2,280	0.3	
嘱託	0	0	0	0					
合計コスト +	21,135	21,443	19,539	19,865	21,610				
前年度比	-	101.5%	91.1%	101.7%	-				

事務事業評価票

事務事業名	商業振興事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	商業振興事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

売上向上や販路拡大に取り組む事業者や、地域に密着した活力ある商店街づくりを目指し行う各種事業、中心市街地の活性化を図るうえで必要な基礎数値を把握する調査に対し支援をするもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 中心市街地活性化事業
中心市街地の空き店舗・空き地調査や、回遊性向上に繋がる事業に対し支援
- 商店街等共同施設設置事業
商店街団体等が街路灯などの共同施設を設置・修繕する事業に対し支援
・実績 3件
- 空き店舗活用事業
空き店舗を解消するため、空き店舗を賃貸して出店する場合の家賃に対し支援
・実績 6件
- 商店等グレードアップ事業
外国人や高齢化社会に対応し、来店者にとって安全、安心で、魅力ある店舗づくりを進めるため、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた店舗改修事業に対し支援
・実績 33件
- 商業ビジョンに基づく事業(新規)
様々な課題を抱える事業者に対して、地域で活躍する現役の経営者が「商業アドバイザー」「キャッシュレス専門相談員」として、挑戦する事業者を支援(R元.11~)
商業アドバイザー事業 実績 16事業者を支援
キャッシュレス専門相談員 実績 29事業者を支援
「創業」及び「事業承継」に係る支援情報を共有し、個店の経営力強化と創出を図るため、関係機関で構成する「松本地域事業者支援ネットワーク」を設立(R2.1~)

< 現状に対する認識 >

平成31年4月策定の商業ビジョンに掲げた「7つの重点事業」の推進を図っている。
販路拡大・生産性の向上に取り組む小規模事業者に対する支援
創業に関する情報収集・共有及び伴走型支援の実施
事業承継に対する経営者の意識啓発 キャッシュレス化の推進
(仮称)think local, buy local運動の展開 (仮称)まちなか未来Talkの開催
中心市街地までの来街環境の充実

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	522	商業の振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み			個店、商店街の国際化支援
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
			松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	商店等グレードアップ事業補助件数				
指標の設定理由	第10次基本計画基本施策の進捗管理指標				
目標値	10	10	10	10	-
実績値	12	12	18	33	
達成度	120.0%	120.0%	180.0%	330.0%	-
成果指標(指標名)	松本市中心市街地入居店舗率(空き店舗率から算出)				
指標の設定理由	中心市街地の活性化(魅力ある商店街づくり)に対する指標となるため				
目標値	88.0%	88.0%	88.0%	88.0%	88.0%
実績値	88.4%	91.6%	90.8%	91.5%	
達成度	100.5%	104.1%	103.2%	104.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	28,012		27,611		28,633		28,644		12,830	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	28,012		27,611		28,633		28,644		12,830	
人件費(千円)	13,073	人工	12,903	人工	9,815	人工	9,880	人工		人工
正規	13,073	1.7	12,903	1.7	9,815	1.3	9,880	1.3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	41,085		40,514		38,448		38,524		12,830	
前年度比	-		98.6%		94.9%		100.2%		-	

事務事業評価票

事務事業名	創業者支援事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	創業者支援事業費

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み	個店、商店街の国際化支援	
基本施策(個別目標)	511	創業・事業承継支援の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

意欲ある創業者が円滑に創業し自立することができるように、対象とする経費に対して補助をするとともに、伴走型の支援を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 新規開業家賃補助事業	新規開業者が店舗を賃借して開業する場合の家賃に対し支援(2年) 補助率 1年目 家賃の3/10 2年目 家賃の2/10 ・実績 1年目 39件 2年目 70件
2 新規開業支援利子補給事業	新規開業者が、開業にあたり市や県の制度資金等で創業支援向け融資を利用した場合の利子に対し支援(2年) 補助率 1年目 利子相当額 2年目 利子相当額の2/3 ・実績 1年目 27件 2年目 50件

<現状に対する認識>

商業ビジョンでは、新規創業者が増加している現状を強みと捉えております。増加の要因として、松本商業会議所が創業者を支援するノウハウを持っているおり、多くの創業者を支援してきたことが挙げられることから、今後は更なる創業者の増加に繋げるため、支援窓口の認知度を高めます。
また、創業者支援事業に加え、創業後5年未満の事業者に対するフォローアップ支援を強化し、新規創業者の事業継続率の向上を図ります。

< 指標の達成状況 >

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	創業支援者件数				
指標の設定理由	産業の活力を示す数値であるため				
目標値	50	50	50	50	50
実績値	52	45	43	43	
達成度	104.0%	90.0%	86.0%	86.0%	-
成果指標(指標名)	新規創業支援者の5年後事業継続率				
指標の設定理由	経済・雇用の安定を示す数値であるため				
目標値	85.7%	94.8%	94.1%	97.7%	94.4%
実績値	81.0%	84.6%	94.1%	90.3%	
達成度	94.5%	89.2%	100.0%	92.4%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	30,084	33,318	29,778	26,381	29,570
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	30,084	33,318	29,778	26,381	29,570
人件費(千円)	11,422	11,312	11,125	11,072	
正規	9,997	9,867	9,060	9,880	
嘱託	1,425	1,445	2,065	1,192	
合計コスト +	41,506	44,630	40,903	37,453	29,570
前年度比	-	107.5%	91.6%	91.6%	-

事務事業評価票

事務事業名	中小企業金融対策事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	中小企業金融対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

中小企業者が事業経営に必要とする資金を円滑に調達できるよう、市制度及び県制度資金の融資あっせん、制度資金を利用する際に必要な信用保証料及び一部資金の利子について支援するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 中小企業金融対策資金信用保証料
 中小企業者が制度資金を利用し事業資金の借入をする場合に、その借入がスムーズに行われるよう「公的な保証人」となる保証制度を利用したとき、中小企業者が支払う保証料に対し支援
 ・市制度資金 219件
 保証料の4/5を市が負担
 (ただし、セーフティーネット保証に該当する場合は全額負担)
 ・県制度資金 167件
 保証料の2/5づつを市と県が負担
 (ただし、セーフティーネット保証に該当する場合は1/2づつ負担)

2 中小企業金融対策資金利子 483件
 市制度資金のうち9資金について、中小企業者が支払う利息に対し支援
 期間 3年間
 利子補給率 貸付利率の0.2% ~ 0.8%

< 現状に対する認識 >

令和2年3月に新型コロナウイルス対策特別資金を新設し、事業者の資金繰り支援を実施しました。今後も必要な資金の新設など状況に応じた対応をするとともに、事業者が利用しやすい資金となるよう融資条件やメニューの見直しを図ります。

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	個店、商店街の国際化支援	
基本施策(個別目標)	522	商業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略		

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 指標の達成状況 >

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	1,996,521	1,728,293	1,474,231	1,230,654	1,257,670
国・県					
利用者負担金					
その他	1,900,000	1,640,000	1,400,000	1,140,000	1,170,000
一般財源	96,521	88,293	74,231	90,654	87,670
人件費(千円)	10,314	9,178	7,575	6,452	
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	2,280
嘱託	5,700	2	4,624	1.6	4,172
合計コスト +	2,006,835	1,737,471	1,481,806	1,237,106	1,257,670
前年度比	-	86.6%	85.3%	83.5%	-

事務事業評価票

事務事業名	工業振興事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	工業振興費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市内中小製造業者の活性化に資する各種支援施策に必要な負担金及び補助金の交付するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

工業振興に係る負担金及び補助金

- 1 ビジネスタイアップ商談会
 諏訪圏工業メッセ参加企業への支援(出展料負担)
- 2 中小企業総合展
 テクニカルショーヨコハマへの出展補助
- 3 まつもと広域ものづくりフェアへの負担金
 実績 来場者数 14,150人(2日間)
- 4 松本機械金属工業会への運営費補助
- 5 空き工場を有効に活用するため、賃借料の一部を補助
 新松本工業団地分譲完了に伴い、企業立地助成事業令和2年度分82,470千円が健康産業・企業立地課から商工課へ所管替えとなった。

< 現状に対する認識 >

平成30年度から新しい松本市工業ビジョンの基本戦略・基本方針に基づき、活動指標の目標達成に向け事業を推進している。

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み	産業振興に必要なICT環境とICT教育の充実	
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	まつもと広域ものづくりフェア来場者数				
指標の設定理由	松本市工業ビジョンにおける目標指標				
目標値			20,000	20,000	20,000
実績値			13,950	14,150	
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	69.8%	70.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	8,340	7,490	89,580
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源			8,340	7,490	89,580
人件費(千円)	0	人工	0	人工	1,510
正規	0		0		1,510
嘱託	0		0		0.2
					760
					0.1
					0
合計コスト +	0	0	9,850	8,250	89,580
前年度比	-	-	-	83.8%	-

事務事業評価票

事務事業名	地場産業振興
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地場産業振興費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

物産展等の開催や出展等による地場産品の販路拡大や新商品開発等による新たな需要の喚起、伝統産業の技術を継承できる後継者の育成等により地場産業の振興を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- ものづくり伝承事業
 地元イベントや県外物産展等の開催、出展及び事業者の出展支援
 後継者育成助成による後継者の確保や体験講座等による伝統産業を周知し、理解を深めるための事業の実施
 県外物産展出展回数 10回
- 松本スイーツ開発・普及事業
 コンテストの実施、事業者の共同開発による新たなスイーツの開発
 地元イベントや県外物産展等への出展、販売イベントの開催等のプロモーション活動
 商品化点数 30点、取扱事業所数 14事業所(累計16事業所)
- イベント開催
 地場産品の振興につながるイベントの実施
 3回開催
 ・工芸の五月(5月)
 ・信州夢街道フェスタ(6月)
 ・信州・松本そば祭り(10月) 台風により中止
 ・信濃の国楽市・楽座(10月)

< 現状に対する認識 >

・伝統産業の作り手、購買層とも高齢化が進む中、技能の継承のための後継者育成と、若年層の関心や需要の喚起に向けた、地元、大都市圏でのPR及び販路拡大が必要
 ・松本スイーツは認知度が着実に向上している。今後は地元百貨店等と連携したプロモーション活動等により、一層の定着と販路拡大を目指す。また菓子組合を通じた働きかけ等により取扱店の拡大を図る。
 ・市内イベントは、市民だけでなく市外からの来場者も多く定着している。今後も実施内容を見直しながら事業の継続、拡大を図る。

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	3 経済の好循環の創出
松本版総合戦略	松本産品のブランド化

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	県外物産展の開催・出展及び市内イベント開催回数				
指標の設定理由	伝統産業・地場産品の周知の指標となるため				
目標値	9	10	10	10	10
実績値	12	15	15	13	
達成度	133.3%	150.0%	150.0%	130.0%	-
成果指標(指標名)	松本スイーツ取扱事業所数				
指標の設定理由	事業の広がり、認知度の指標となるため				
目標値	10	15	18	21	24
実績値	12	14	16	16	
達成度	120.0%	93.3%	88.9%	76.2%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	44,613		44,548		43,488		43,711		42,910	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	44,613		44,548		43,488		43,711		42,910	
人件費(千円)	11,422	人工	11,493	人工	8,895	人工	6,512	人工		人工
正規	9,997	1.3	10,626	1.4	8,305	1.1	5,320	0.7		
嘱託	1,425	0.5	867	0.3	590	0.2	1,192	0.4		
合計コスト +	56,035		56,041		52,383		50,223		42,910	
前年度比	-		100.0%		93.5%		95.9%		-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	企業事務所等誘致事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み			若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
			松本版総合戦略			新しい働き方・雇用の創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	企業事務所等誘致事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

テレワークを駆使した事業所や上場企業等の事業所を松本市内に誘致することで、雇用の拡大や、新しい働き方の創出を推進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- テレワークオフィス設置支援事業
地方創生総合戦略事業として、若者、女性、IJUターン者の新しい働き方を創出するため、ICT技術を駆使し、テレワークを実施するため、サテライトオフィスを市内に開設を希望する企業に対し、賃借料の一部を補助
実績 累計8社
- 企業事業所誘致事業
一部上場企業等の市内への事業所開設に対して、不動産の取得費用及び賃貸費用のついて補助
実績 継続3社

<現状に対する認識>

ICT拠点施設サザンガクのサテライトオフィスへの企業誘致等により、積極的PR情報収集及びを行い、誘致数の増加に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業所誘致件数				
指標の設定理由	企業誘致数が事業進捗の指標となるため				
目標値	2	2	2	2	2
実績値	1	1	3	3	
達成度	50.0%	50.0%	150.0%	150.0%	-
成果指標(指標名)	テレワークオフィス開設件数(累計)				
指標の設定理由	企業誘致数が事業進捗の指標となるため				
目標値	2	3	4	5	15
実績値	2	2	3	8	
達成度	100.0%	66.7%	75.0%	160.0%	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	1,723	1,164	4,345	9,110	12,050
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,723	1,164	4,345	9,110	12,050
人件費(千円)	1,538	2,277	755	760	
正規	1,538	0.2	2,277	0.3	755
嘱託	0	0	0	0	0.1
合計コスト +	3,261	3,441	5,100	9,870	12,050
前年度比	-	105.5%	148.2%	193.5%	-

事務事業評価票

事務事業名	産業創発支援事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	産業創発支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

平成30年に策定した新「松本市工業ビジョン」(計画期間:2018年~2027年)に基づき、重点産業の推進や新製品開発、販路拡大等の支援、ICTの活用推進等により、産業創発力の向上や生産性の向上等、製造業の活性化を目指すもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 工業ビジョン推進
「松本市工業ビジョン」(2018~2027)に掲げる「健康・医療産業」「食料品製造業」「産業用ロボット等の高度な産業用機械分野」の3つの重点産業の推進、ICTの活用推進など、「松本市の特性を生かした新たな活力の創造により高い競争優位性を持った地域」を目指し、松本ものづくり産業支援センターを中心に、産学官が連携して取り組むもの
令和元年度からは、国のハズオン支援(経産省)を受け、「松本地域の特性を生かした農工商連携ブランド化プロジェクト」を開始し、食料品・飲料製造分野に重点的に取り組んでいる
- ものづくり支援コーディネーター事業(松本ものづくり産業支援センター)
企業の課題解決や補助金申請等、各種支援制度の活用のための支援を行うもの
R1実績 企業支援 延べ約700社
- 松本市製造業等活性化支援事業
重点産業や産学連携による新製品・技術の開発等への支援を行うもの
R1実績 3件
- 松本市製造業等販路拡大支援事業
新たな販路開拓・拡大を支援するため、展示会、見本市への出展経費を補助するもの
R1実績 30件
- 松本市製造業等人材育成支援事業
経営力の強化、技術力の向上等を目的に行う人材育成を支援するもの
H30実績 58件
- ICT活用地域産業振興事業(松本ものづくり産業支援センター)
ICT拠点施設を軸に、地域企業の生産性向上や企業誘致、人材育成、起業・創業支援、新しい働き方の浸透を図るもの
R1実績 拠点施設「サザンガク」開設、サテライトオフィス13室入居、テレワーカー登録64名

< 現状に対する認識 >

松本市工業ビジョンに基づき、(一財)松本ものづくり産業支援センターを中心に、重点的推進事項に掲げた健康・医療産業、食料品製造業、産業用ロボット等の高度な産業用機械分野の推進に向け産学官が連携して取り組むほか、健康経営の推進及びICTの活用による生産性向上や新たな雇用の創出等に取り組み、産業創発の加速化を図ります。またICTを活用した起業・創業支援やテレワークなど新しい働き方の浸透を図ります。

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み	産業振興に必要なICT環境とICT教育の充実		
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
松本版総合戦略	新しい働き方・雇用の創出		

< 指標の達成状況 >

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	製造業等活性化支援事業				
指標の設定理由	工業ビジョンの活動指標であり、重点産業の推進に結び付くものであるため				
目標値	3	3	4	4	4
実績値	2	6	3	3	
達成度	66.7%	200.0%	75.0%	75.0%	-
成果指標(指標名)	製造業等販路拡大支援件数				
指標の設定理由	企業の産業振興に対する指標となるため				
目標値	18	21	30	30	30
実績値	30	31	26	30	
達成度	166.7%	147.6%	86.7%	100.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	37,799	50,948	68,324	345,650	104,090
国・県			13,965	143,120	25,610
利用者負担金					
その他					
一般財源	37,799	50,948	54,359	202,530	78,480
人件費(千円)	26,576	30,033	14,110	17,554	
正規	22,301	26,565	10,570	13,680	
嘱託	4,275	3,468	3,540	3,874	
合計コスト +	64,375	80,981	82,434	363,204	104,090
前年度比	-	125.8%	101.8%	440.6%	-

事務事業評価票

事務事業名	海外経済交流事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	海外経済交流事業費

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み		外国人旅行客の倍増をめざした、松本の国際化
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

健康寿命延伸都市・松本の発信のため、世界に向けて多様なチャンネルを開く目的から、機会を捉えて海外との経済交流や文化交流、誘客を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 ロシア経済交流事業
ラグジュアリートラベルマート(LTM)へ出展し、松本の地場産品や観光等、松本の魅力をPR
・パンフレット、ツアープログラム配布 200部

ロシア旅行社のエージェントによるファミトリップを実施
・51名参加

< 現状に対する認識 >

・ロシアとの交流は、平成20年度以降順調に進んでおり、観光案内所利用者もR元年は過去最多であったH30年に続き高い水準を維持したが、更なる松本の知名度向上と誘客のため、関係機関等と協力して松本の観光と土産のPRを継続する。

< 指標の達成状況 >

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	ロシア人観光案内所利用者数				
指標の設定理由	交流の進行度の指標となるため				
目標値	30	50	50	50	50
実績値	79	172	338	286	
達成度	263.3%	344.0%	676.0%	572.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	524	512	804	500	540
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	524	512	804	500	540
人件費(千円)	1,538	1,518	1,510	760	
正規	1,538	1,518	1,510	760	
嘱託	0	0	0	0	
人工	0.2	0.2	0.2	0.1	
合計コスト +	2,062	2,030	2,314	1,260	540
前年度比	-	98.4%	114.0%	54.5%	-

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	0710000
-----	-------	----	-----	-----	---------

事務事業名	計量検査事務
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	522	商業の振興	5つの重点目標	3 経済の好循環の創出
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	計量検査事務費

<事業の狙い>	事業計画年度	~
計量器定期検査の実施や計量思想の普及啓発をとおり、適正な計量の実施を確保する。また、これをもって計量法の目的である経済の発展及び文化の向上に寄与するもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 定期検査(検査対象区域を分け2年毎に法定検査を実施) 集合場所検査(15日間実施、検査個数691個) 追加検査(3日間実施、検査個数86個) 所在場所検査 ア 大型はかり(3日間実施・検査個数13個) イ 小型はかり(9日間実施・検査個数719個)
2 立入検査 商品量目立入検査、特定計量器の立入検査 (1日間実施、市内4店舗の食品スーパーにて、80品の商品量目、32個の特定計量器を立入検査)
3 計量思想の普及・啓発 第43回松本市消費生活展へ計量ブースを出展 計量記念日事業(計量思想の普及啓発のため11月2日にチラシを配布)

<現状に対する認識>

取引・証明に使用している計量器は、使用者に2年に1度の受検義務があるが、そのことについて認識していない使用者が多く存在していると考え。特に新たに受検対象となる事業者等においては、認識不足による未受検が生じている可能性がある。検査の公平性を担保するために、受検対象者を正確に把握する必要があることから、関係団体等と連携し制度の周知、啓発を進めます。

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	2,680	2,286	1,794	2,254	1,750					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,680	2,286	1,794	2,254	1,750					
人件費(千円)	2,592	人工	2,566	人工	2,938	人工				
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,643	0.35	2,280	0.3		
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1	0	0		
合計コスト +	5,272		4,852		4,732		4,534		1,750	
前年度比	-		92.0%		97.5%		95.8%		-	

事務事業評価票

事務事業名	工業団地管理事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	工場団地管理事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市内の工業団地の適切な維持・管理を行い、産業振興に寄与するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 大久保工場公園団地管理会館管理
大久保工場公園団地管理会館の適切な維持・管理
令和元年度 大久保工場公園団地管理会館会議室利用件数 13件
- 工場団地敷地貸付事業
工場団地内の松本市所有地の貸付
- 工場団地内敷地管理事業
工場団地内の市有地について、除草、伐採、沈砂池汚泥処理等の管理
新松本工業団地分譲完了に伴い、健康産業・企業立地課から除草委託費が
商工課へ所管替えされたため増額となった。

< 現状に対する認識 >

平成28年度、大久保工場公園団地管理会館の耐震補強及び改修工事を実施。今後は、次回指定管理更新時(平成33年度)までに、管理会館の指定管理方式の検討を行う。

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	3 経済の好循環の創出
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	大久保工場公園団地管理会館会議室利用件数				
指標の設定理由	管理会館の活用状況が適切な維持管理の指標となるため				
目標値	21	25	25	25	25
実績値	13	25	27	13	
達成度	61.9%	100.0%	108.0%	52.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	71,469		7,453		10,154		8,380		13,060	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	71,469		7,453		10,154		8,380		13,060	
人件費(千円)	5,157	人工	2,674	人工	2,525	人工	2,414	人工		人工
正規	2,307	0.3	1,518	0.2	755	0.1	1,520	0.2		
嘱託	2,850	1	1,156	0.4	1,770	0.6	894	0.3		
合計コスト +	76,626		10,127		12,679		10,794		13,060	
前年度比	-		13.2%		125.2%		85.1%		-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	0710000
-----	-------	----	-----	-----	---------

事務事業名	市営市街地駐車場事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	512	中心市街地の賑わいの創出	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	市街地駐車場事業
予算中事業名	駐車場管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度	~
--------	---

駐車場の利便性向上を図ることで、顧客満足度を高めるとともに、観光バスを中心市街地の駐車場に呼び込むことで、観光客の回遊性を高め、商店街の活性化を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

利用台数

松本城大手門駐車場

ア 時間貸駐車
普通車113,209台、バス4,419台、バイク2,216台

イ 定期駐車
1,946台(延台数)
中央西駐車場

ア 時間貸駐車
普通車175,981台

イ 定期駐車 なし

【商業ビジョンに基づく事業(新規)】
「中心市街地の商業地としての魅力を高めるまちづくり」を推進するため、松本PARCOが導入したQRコードによる無料駐車サービスへの対応を令和元年12月19日から開始(発券機、精算機、管理PCを更新・改修)

中央駐車場

ア 時間貸駐車
普通車90,690台

イ 定期駐車
629台(延台数)

<現状に対する認識>

商業ビジョンにおいて、駐車場施設は、来街環境の充実や観光客の回遊性を高めるといった観点から重要な拠点施設として位置付けている。これらを達成するために施設、設備の定期的な改修による安心安全な施設づくり、顧客対応等サービス面の一層の充実が必要である。また、松本商工会議所が事務局を務める松本商店街連盟の共通駐車券は旧式であり、汎用性がないことから見直しが急務である。

<指標の達成状況>

	総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用台数(時間駐車)				
指標の設定理由	中心市街地への来街者数を示す数値であるため				
目標値	490,000	473,500	430,500	430,500	430,500
実績値	468,547	445,178	412,447	379,880	
達成度	95.6%	94.0%	95.8%	88.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	329,949	315,125	393,760	273,146	277,610					
国・県										
利用者負担金	323,116	252,188	246,686	260,929	277,610					
その他	6,833	62,937	147,074	12,217						
一般財源										
人件費(千円)	11,422	人工	11,312	人工	9,190	人工	8,956	人工		人工
正規	9,997	1.3	9,867	1.3	8,305	1.1	8,360	1.1		
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	885	0.3	596	0.2		
合計コスト +	341,371	326,437	402,950	282,102	277,610					
前年度比	-	95.6%	123.4%	70.0%	-					

健康産業推進課

課長 高野 敬吾

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

事務事業名	健康寿命延伸新需要創造事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	健康寿命延伸新需要創造事業

< 事業の狙い >

事業計画年度	H23	～
--------	-----	---

国の成長戦略の一翼を担う健康寿命の延伸を目指す健康、医療・介護分野において、産業の創出と集積を図ることで、地域産業の育成と雇用に結び付けることを、市民及び産学官の協働により持続可能な都市政策として推進するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 松本地域健康産業推進協議会会員数 365団体(前年比18増)
- 2 健康産業フォーラム 2回開催(5/13、1/30、3/16<コロナウイルスにより中止>)
- 3 実証実験・実用化検証助成事業(協議会会員の実証実験を助成) 5件実施
- 4 松本ヘルス・ラボの推進
- 5 「歩こうBiz & CycleBiz」事業
(健康経営に伴う新しいビジネススタイルの提案)
- 6 第9回世界健康首都会議の開催(10/16、17)
- 7 企業連携事業の推進

< 現状に対する認識 >

国は、2025年のヘルスケア産業の国内市場規模を約33兆円と推計し、新規参入やスタートアップ企業による投資が進むことを期待しているほか、「地域版次世代ヘルスケア産業協議会」の設置を促進するなど、各地域による主体的な産業振興も後押ししている。また、「松本市工業ビジョン」においても、企業向けアンケート調査の結果、「成長が期待される分野」として「医療・福祉機器」、「健康増進」関連が上位を占めている。こうした現状を踏まえ、松本地域健康産業推進協議会がプラットフォームとなり、産学官連携を推進することで、ヘルスケア産業の更なる振興を図る必要がある。

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	532	健康産業の創出

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み			新松本工業団地への健康・医療産業等の誘致
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	実用化に向けた実証事業等の件数				
指標の設定理由	経済効果を検証することが困難なため、制度のアウトプット指標を成果指標とした				
目標値	2	2	2	2	2
実績値	4	4	5	5	
達成度	200.0%	200.0%	250.0%	250.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	11,761		11,526		12,159		11,791		13,390	
国・県										
利用者負担金										
その他							3,000			
一般財源	11,761		11,526		12,159		8,791		13,390	
人件費(千円)	22,930	人工	22,732	人工	22,710	人工	22,874	人工		人工
正規	19,225	2.5	18,975	2.5	18,875	2.5	19,000	2.5		
嘱託	3,705	1.3	3,757	1.3	3,835	1.3	3,874	1.3		
合計コスト +	34,691		34,258		34,869		34,665		13,390	
前年度比	-		98.8%		101.8%		99.4%		-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

事務事業名	健康産業市民協働促進事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	健康産業市民協働促進事業

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	532	健康産業の創出

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み		新松本工業団地への健康・医療産業等の誘致
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		健康・医療産業の創出・育成

< 事業の狙い >

事業計画年度	H26 ~
--------	-------

市民(地域住民)の健康増進と、市民との共創によるヘルスケア産業の創出・育成の実現をめざすもの(国の地方創生推進交付金活用:平成28年度~30年度)

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 【企業向け】市民参加による健康産業創出の場
開発中の健康づくりのための製品やサービスを松本ヘルス・ラボ会員が試験的に体験し、評価を行うモニタリングサービスを実施
令和元年度実施件数5件
- 【会員向け】健康づくりの機会提供
・健康チェック 年2回実施
(体力テスト、血液検査、身体測定ほか)
・健康増進プログラム 月1回程度実施
(ラジオ体操、ヨガ、リズム体操、測定会、健康料理教室ほか)
- オフィスの活用と設備の充実
・平成29年3月に開設したオフィスについて、保健師による定期的な健康相談や展示スペース、企業と連携したプログラムの実施等に活用
・オフィスに設置した体組成計及び骨密度計等により、健康の見える化を実施
- 新規会員獲得に向けた取り組み
・若年層からの健康管理を促進するため、令和元年度に松本短期大学の学生及び教職員の会員登録を行った。
・モニターを会員登録することで、モニタリング事業ごとに新規会員獲得に努めた。
・イオンモール松本において、会員及び市民向けにウォーキングを実施することで、新規会員獲得を図った。

< 現状に対する認識 >

会員規模を抜本的に見直し、会員獲得の手法や提供するプログラムのあり方等の検討が必要。
利用企業が限定的であるため、認知度向上に向けた戦略的な広報が必要。
収集する健康データの内容・規模の充実に向け、ICT化、デジタル化を進め、健康データの活用に向けたシステム構築の検討が必要。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本ヘルス・ラボ登録会員数				
指標の設定理由	松本ヘルス・ラボの組織規模と事業規模を計る上で適しているため				
目標値	800	800	1000	1200	1200
実績値	450	750	1000	1200	
達成度	56.3%	93.8%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	64,534		25,370		28,700		27,510		27,510	
国・県	26,286		11,750		14,350					
利用者負担金										
その他										
一般財源	38,248		13,620		14,350		27,510		27,510	
人件費(千円)	16,235	人工	16,047	人工	15,985	人工	16,094	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	15,200	2		
嘱託	855	0.3	867	0.3	885	0.3	894	0.3		
合計コスト +	80,769		41,417		44,685		43,604		27,510	
前年度比	-		51.3%		107.9%		97.6%		-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

事務事業名	工業振興 (新松本工業団地建設事業)
-------	-----------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	新松本工業団地への健康・医療産業等の誘致	
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略	健康・医療産業の創出・育成	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	工業振興費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H21 ~

医療、健康、福祉、環境関連等、今後競争優位に立てる分野の工場や研究所を誘致するため、外部から専門性の高い指導・助言を受け誘致業務を推進する。企業の進出を円滑にする助成制度を設け、進出企業の生産活動を支援するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市工業ビジョンに基づき、新たな工業団地を建設し、企業誘致を行うもの

1 場所 松本市和田(松本臨空工業団地北東隣接地)

2 規模 開発面積約20.3ha(うち分譲地 約14.3ha)

3 進捗

H20 計画地決定、地元説明、現地測量

H21 特会設置、地元調整、用地取得交渉、実施設計、発掘ほか調査

H22 用地取得、開発許可申請、調査、団地外下水道工事着手

H23 用地取得、調査、団地造成工事着手

H24 分譲開始、2社に分譲(株関一精機、テスコム電気株)

H25 企業誘致活動

H26 2社に分譲(株TOSYS、株国吉)、団地造成工事完了

H27 1社に分譲(株タカノ)

H28 3社に分譲(株信越リード、ケンマージャパン株、株ハーモニック・ドライブ・システムズ)

H29 1社に分譲(株ソーデナガノ)

H30 2社に分譲(東新工業株、株タカノ)

R1 2社に分譲(株田中機器製作所、株ユカシカド)

分譲完了 特別会計廃止

(累計分譲面積=142,576㎡(分譲率=100%))

< 現状に対する認識 >

令和元年度で新松本工業団地の分譲が完了し、12社が入居。今後はヘルスケアビジネス開発支援アドバイザーとともに、新松本工業団地立地企業および松本地域の企業の新製品やサービスの開発等、産学官連携の支援を積極的に行う。

現在、市内に企業進出要望に応えられる用地が確保できていない状態のため、令和4年に予定している松本市工業ビジョン(2018年度~2027年度)中間見直しに向け、庁内に検討組織を設置し、新しい工業団地の整備方針について検討を行う。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	新松本工業団地の分譲率(%)				
指標の設定理由	団地の分譲状況を直接的に測定できるため				
目標値	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%
実績値	64.7%	80.7%	93.5%	100.0%	
達成度	129.4%	134.5%	133.6%	125.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	96,467		242,192		309,098		159,902		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	96,467		242,192		309,179		159,902			
人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工	3,800	人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	100,312		245,987		312,873		163,702		0	
前年度比	-		245.2%		127.2%		52.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	新工業団地建設事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	新松本工業団地建設事業特別会計
予算中事業名	新松本工業団地建設事業

< 事業の狙い >

事業計画年度	H21 ~ R2
--------	----------

産業基盤の確立と地域経済の発展のため、知識集約型企業の拠点、とりわけ医療、健康、福祉、環境関連等、今後競争優位に立てる分野の工場や研究所を誘致し、次代を担う若者たちが生き生きと働くことができる雇用の場を確保し、「健康寿命延伸都市・松本」の創造を目指すもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市工業ビジョンに基づき、新たな工業団地を建設し、企業誘致を行うもの

- 場所 松本市和田(松本臨空工業団地北東隣接地)
- 規模 開発面積約20.3ha(うち分譲地 約14.3ha)
- 進捗
 - H20 計画地決定、地元説明、現地測量
 - H21 特会設置、地元調整、用地取得交渉、実施設計、発掘ほか調査
 - H22 用地取得、開発許可申請、調査、団地外下水道工事着手
 - H23 用地取得、調査、団地造成工事着手
 - H24 分譲開始、2社に分譲(株関一精機、テスコム電気株)
 - H25 企業誘致活動
 - H26 2社に分譲(株TOSYS、株国吉)、団地造成工事完了
 - H27 1社に分譲(株タカノ)
 - H28 3社に分譲(株信越リード、ケンマージャパン株、株ハーモニック・ドライブ・システムズ)
 - H29 1社に分譲(株ソーデナガノ)
 - H30 2社に分譲(株東新工業株、株タカノ)
 - R1 2社に分譲(株田中機器製作所、株ユカシカド)分譲完了 特別会計廃止

(累計分譲面積=142,576㎡(分譲率=100%))

< 現状に対する認識 >

令和元年度で新松本工業団地の分譲が完了し、12社が入居。今後はヘルスケアビジネス開発支援アドバイザーとともに、新松本工業団地立地企業および松本地域の企業の新製品やサービスの開発等、産学官連携の支援を積極的に行う。
 現在、市内に企業進出要望に応えられる用地が確保できていない状態のため、令和4年に予定している松本市工業ビジョン(2018年度～2027年度)中間見直しに向け、庁内に検討組織を設置し、新しい工業団地の整備方針について検討を行う。

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み	新松本工業団地への健康・医療産業等の誘致	
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略	健康・医療産業の創出・育成	

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	新松本工業団地の分譲率(%)				
指標の設定理由	団地の分譲状況を直接的に測定できるため				
目標値	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%
実績値	64.7%	80.7%	93.5%	100.0%	
達成度	129.4%	134.5%	133.6%	125.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	16,011	15,182	10,136	13,660	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源					
人件費(千円)	11,535	11,385	11,325	11,400	
正規	11,535	11,385	11,325	11,400	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	27,546	26,567	21,461	25,060	0
前年度比	-	96.4%	80.8%	116.8%	-

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

事務事業名	健康産業関連商品普及促進事業
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5 地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み	新松本工業団地への健康・医療産業等の誘致	
基本施策(個別目標)	532	健康産業の創出	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略	健康・医療産業の創出・育成	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	健康産業関連商品普及促進事業

< 事業の狙い >	事業計画年度	H27 ~
松本地域健康産業推進協議会実証実験等を活用して開発された製品について、広く市民への普及促進を図るもの		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

<p>制度の概要</p> <p>健康寿命延伸に寄与するものとして松本地域健康産業推進協議会の実証実験等を活用して開発された製品について、広く市民へ普及促進することにより、市民の健康寿命の延伸及び地域の健康産業の活性化を図るため、製品購入金額の一部を補助するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> 購入金額の最高20%(上限額5万円)を補助 補助金の交付申請は購入者が行い、1人につき同一製品3件まで 補助交付申請期間は、登録販売価格を登録した日の属する年度を含め2年度 <p>令和元年度実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定製品 0件 補助実績 0件
--

< 現状に対する認識 >

来年度は対象をサービスまで拡大し、「消費者への普及」という出口戦略の要として、松本地域健康産業推進協議会の実証事業や松本ヘルス・ラボのモニタリング事業を活用して開発された製品等を広く市民へ普及促進するため、補助事業を継続する。

< 指標の達成状況 >	総合評価	E			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	補助件数				
指標の設定理由	補助制度の利用状況が直接的にわかるため				
目標値	20	20	10	10	10
実績値	0	10	5	0	
達成度	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	180	74	0	200
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		180	74	0	200
人件費(千円)	769	人工 759	人工 755	人工 760	人工
正規	769	0.1	759	0.1	755
嘱託	0	0	0	0	0
合計コスト +	769	939	829	760	200
前年度比	-	122.1%	88.3%	91.7%	-

事務事業評価票

事務事業名	健康産業促進事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	健康寿命延伸新需要創造事業

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	532	健康産業の創出

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	10	意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
主な取組み			積極的な民間との連携と、未来への投資
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
松本版総合戦略			健康・医療産業の創出・育成

< 事業の狙い >

事業計画年度

H29 ~ H31

企業の本社や研究開発機関が集積する首都圏から、松本地域への投資を呼び込むため、首都圏でのマーケティング支援業務の経験を豊富に有する人材に、健康産業促進プロデューサー業務を委託する。首都圏での営業活動体制を強化することで、松本地域への新たな投資の促進を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 松本地域健康産業推進協議会の加入促進
- 2 首都圏での健康産業フォーラム開催
- 3 実証実験・実用化検証助成事業(協議会会員の実証実験を助成)
- 4 松本ヘルス・ラボのモニター事業支援
- 5 世界健康首都会議へのアドバイス

< 現状に対する認識 >

健康に関する人・投資・情報を松本地域に集積させるには、地域外の企業を松本に呼び込むことが欠かせない。特に、企業等の首都圏への一極集中が指摘される中、松本地域の実証フィールドとしての優位性を積極的にPRし、その経営資源を松本地域に振り向かせることで大きな成果が期待できる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	協議会実証事業、松本ヘルス・ラボのモニター事業へのコーディネート件数				
指標の設定理由	首都圏等からの投資獲得を成果指標とした。				
目標値		1	1	1	1
実績値		1	2	1	
達成度	#DIV/0!	100.0%	200.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	2,000	2,000	2,000	2,000
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		2,000	2,000	2,000	2,000
人件費(千円)	0	人工 759	人工 755	人工 769	人工
正規	0	759	0.1	755	0.1
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	0	2,759	2,755	2,769	2,000
前年度比	-	-	99.9%	100.5%	-

観光温泉課

課長 村山 辰市朗

事務事業評価票

事務事業名	観光宣伝事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	観光宣伝事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本市の観光戦略の具現化を図りながら、本市の特色を生かして、国内への積極的なプロモーション活動を展開するとともに、広域観光ルートの整備促進、受入態勢の整備、各種イベントの実施等により誘客促進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標 (実績値) >

- 1 広告宣伝事業
 - パンフレット等の作成
 - 高速バスラッピング広告
- 2 首都圏等誘客促進事業
 - 商談会参加、観光展出演及び観光情報の発信
- 3 就航先都市誘客促進事業
 - 札幌(新千歳・丘珠)・福岡・大阪・神戸営業活動
 - 松本観光コンベンション協会福岡営業所の運営
 - 旅行代理店への助成制度
 - 就航先のメディアを活用した利用促進PR
- 4 受入体制整備事業
 - 観光案内所運営事業、松本まちなか観光ボランティア運営事業
- 5 県内都市連携事業
 - 上田市連携バス運行事業
- 6 負担金
 - 国宝松本城太鼓まつり・光と氷の城下町フェスティバル
 - 観光ホスピタリティカレッジ
 - ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース
 - 夏まつり松本ほんぼん
 - 北陸・飛騨・信州3つ星街道協議会
 - 山岳プロモーション推進事業
 - 美ヶ原高原直行バス運行事業
 - ランドネビクニックinまつもと 他

< 現状に対する認識 >

・社会情勢やトレンドを注視し、消費者ニーズや費用対効果を検証し、効果的な媒体による宣伝方法や事業内容を検討しながら、PR活動を継続していく。
 ・西山地域の山岳プロモーションが移管されたことにより、全市的な観光施策を一元的に推進していく。

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み			シティプロモーションで松本の魅力を発信
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	3		経済の好循環の創出
			松本版総合戦略			高次広範の観光戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
指標の設定理由	各種プロモーション活動の成果を測れるため				
目標値	5,280,000	5,350,000	5,420,000	5,490,000	5,600,000
実績値	5,115,958	5,122,699	5,074,807	4,976,849	
達成度	96.9%	95.8%	93.6%	90.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	127,718		127,199		134,687		159,442		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	127,718		127,199		134,687		159,442			
人件費(千円)	16,805	人工	20,420	人工	20,350	人工	20,490	人工		人工
正規	15,380	2	18,975	2.5	18,875	2.5	19,000	2.5		
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	1,475	0.5	1,490	0.5		
合計コスト +	144,523		147,619		155,037		179,932		0	
前年度比	-		102.1%		105.0%		116.1%		-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	観光団体育成事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	観光団体育成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

本市及び周辺自治体並びに長野県等、他団体と連携した広域観光プロモーションに取り組むため、各種団体に負担金を支出するもの。
また、各団体等に対して補助金を支出し、各地域の魅力発信及び誘客促進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 負担金	松本観光コンベンション協会 日本アルプス観光連盟 美ヶ原観光連盟 長野県観光機構 中部森林管理局国有林観光施設協議会 信州まつもと空港利用促進協議会 アルプスエアラインクラブ ぶり街道推進協議会 信州まつもと空港地元利用促進協議会 学習旅行誘致推進協議会 JAPAN ALPS広域観光都市連携会議 スノーリゾート信州プロモーション委員会 スポーツコミッション事業
2 補助金	浅間温泉観光協会 温泉地魅力創出發信事業 市民参加料理コンクール アルプス山岳郷 ながわ観光協会

< 現状に対する認識 >

・各団体の地域性や観光資源を生かし、特色ある事業の展開と課題の解決に努める。
 ・今年度から温泉地活性化のために「温泉地魅力創出補助金」を交付し、市内温泉地の観光振興の支援を開始した。今後、効果を検証していく。
 ・西山地域の観光団体関連業務が移管された。観光協会等への支出は、その事業が適正に実行、運営されているかチェックを行っていく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
指標の設定理由	各種団体のプロモーション活動による結果であるため				
目標値	5,280,000	5,350,000	5,420,000	5,490,000	5,600,000
実績値	5,115,958	5,122,699	5,074,807	4,976,849	
達成度	96.9%	95.8%	93.6%	90.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	88,924		87,939		89,118		111,077			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	88,924		87,939		89,118		111,077			
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	96,614		95,529		96,668		118,677		0	
前年度比	-		98.9%		101.2%		122.8%		-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	国際観光都市推進事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	国際観光都市推進事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み		シティプロモーションで松本の魅力を発信
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

本市を訪れる外国人観光客を増やすため、プロモーションの実施および団体への負担金支出を行うもの。また、本市を訪れた外国人観光客の滞在期間延長及び消費拡大のため、受入環境の整備を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 海外観光誘客宣伝事業
 - 旅行博への出展
 - 広告宣伝
 - 旅行代理店等への営業活動
 - 外国語パンフレット作成
- 外国人観光客受入環境整備事業
 - 外国人旅行者体験拡充事業
 - 公衆無線LAN環境整備事業
 - 無線LAN環境整備補助金の支出
- 団体への負担金支出
 - 日本アルプス観光連盟
 - 国際観光振興機構
 - 長野県国際観光推進協議会
 - 超広域観光ビジット3

< 現状に対する認識 >

・外国人観光客宿泊者数は伸びているものの、団体ツアー不振・FIT化がみられるため消費者へのプロモーションを強化する必要がある。
 ・コロナ危機により、インバウンドは壊滅しているため、回復の動向を見ながら進める必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	外国人観光客宿泊者数				
指標の設定理由	プロモーション、受入環境整備の結果であるため				
目標値	150,000	170,000	190,000	210,000	230,000
実績値	140,755	162,428	171,508		
達成度	93.8%	95.5%	90.3%	0.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	32,987		21,941		21,918		24,666		0	
国・県							891			
利用者負担金										
その他										
一般財源	32,987		21,941		21,918		23,775			
人件費(千円)	15,380	人工	15,180	人工	15,100	人工	15,200	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	15,100	2	15,200	2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	48,367		37,121		37,018		39,866		0	
前年度比	-		76.7%		99.7%		107.7%		-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	観光戦略推進事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み		シティプロモーションで松本の魅力を発信
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	観光戦略推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

「観光ビジョン」により、観光客誘致促進や滞在型観光を推進するため、アクションプランの実施や観光大使を活用したプロモーションなど、効果的な観光施策の展開するもの。
また、公式観光情報ポータルサイト「新まつもと物語」による情報発信強化により、誘客促進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本市観光大使の活動支援
「松本市が有する観光資源を広く周知し、誘客促進を図る」という任命趣旨に基づく活動を支援するもの。(PR用品の購入及び名刺印刷代)
< 観光大使 >
角田 識之(経営コンサルタント)
赤司 龍之祐(RKB毎日放送ラジオ局プロデューサー)
FDA11号機(飛行機)
松本山雅FC(プロサッカーチーム)
秋本 奈緒美(女優)
上田 文雄(弁護士、前札幌市長)
鈴木 ともこ(マンガ家、エッセイスト)
- 公式観光ホームページ情報発信事業
本市を訪れる観光客にとって必要な情報を、民間や行政の区別なく総合的に幅広く提供するとともに、タイムリーな情報を継続的かつ効果的に発信するもの。また、外国人旅行者向けに8カ国語(英語、韓国語、中文繁体字、中文簡体字、ロシア語、フランス語、ドイツ語、タイ語)に対応している。
情報更新、イベント情報発信
多言語サイト情報発信
サイトの保守及び維持管理

< 現状に対する認識 >

・観光ビジョンに基づき、国内外の観光客増や観光の広域化などを継続していく。
・平成30年度新たに任命された観光大使(2名)を活用し、効果的なPRを実施していく。
・公式観光情報「新まつもと物語」を活用し、より魅力ある情報発信を継続していく。
サイトPV数(前年比 10%【3/24現在】)

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
指標の設定理由	誘客促進活動や情報発信の結果であるため				
目標値	5,280,000	5,350,000	5,420,000	5,490,000	5,600,000
実績値	5,115,958	5,122,699	5,074,807	4,976,849	
達成度	96.9%	95.8%	93.6%	90.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	1,360		26,359		5,299		4,839		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,360		26,359		5,299		4,839			
人件費(千円)	11,535	人工	11,385	人工	11,325	人工	11,400	人工		人工
正規	11,535	1.5	11,385	1.5	11,325	1.5	11,400	1.5		
嘱託	0	0	0		0		0			
合計コスト +	12,895		37,744		16,624		16,239		0	
前年度比	-		292.7%		44.0%		97.7%		-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	観光都市交流事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	5つの重点目標
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	観光都市交流事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

姉妹都市、交流協定都市、及び信州まつもと空港就航先近郊都市と、交流事業を実施することで、相互交流の促進と観光誘客を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 姉妹都市との交流
 - 姫路市: 姫路城観桜会参加
 - 高山市: 飛騨味まつり出展、飛騨高山観光大学参加
- 交流協定都市との交流
 - 札幌市: 札幌オータムフェスト出展
 - 金沢市: 加賀百万石まつり出展
 - 鹿児島市: 錦江湾潮風フェスタ出展
- 市民参加都市交流ツアーの実施
 - 鹿児島おはら祭りへの参加
- 観光宣伝事業
 - FDA機内誌への記事(広告)掲載

< 現状に対する認識 >

・一方的な交流とならないよう、相互の観光交流の促進に取り組む。
 ・姉妹都市である姫路市とともに、国宝城郭都市(彦根市・犬山市・姫路市・松江市)間の交流促進も図っていく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
指標の設定理由	交流事業の継続により、市民レベルの来訪を促進するため				
目標値	5,280,000	5,350,000	5,420,000	5,490,000	5,600,000
実績値	5,115,958	5,122,699	5,074,807	4,976,849	
達成度	96.9%	95.8%	93.6%	90.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	3,620		6,513		5,427		3,759		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,620		6,513		5,427		3,759			
人件費(千円)	11,535	人工	11,385	人工	11,325	人工	11,400	人工		人工
正規	11,535	1.5	11,385	1.5	11,325	1.5	11,400	1.5		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	15,155		17,898		16,752		15,159		0	
前年度比	-		118.1%		93.6%		90.5%		-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	東山地域観光施設事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	東山地域観光施設事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

東山地域の観光誘客を図るため、各種パンフレットの印刷及び観光施設等の維持管理を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

令和元年度実績

- パンフレット等の印刷
遊歩道マップ、美ヶ原ロングトレイルマップの印刷
- 観光施設の維持管理(指定管理料、保守点検等)
三城いこいの広場
ウェルネスうつくし
三城いこいの広場他(借上料)
美ヶ原保護センター(委託料)
- 公衆トイレの維持管理(電気、上下水道、清掃業務委託、汲取り等)
美鈴湖トイレ
美ヶ原温泉駐車場トイレ
思い出の丘トイレ
- 負担金
日本温泉協会
松塩筑安曇野温泉協会
浅間温泉事業協同組合

< 現状に対する認識 >

・美ヶ原高原等東山地域の魅力向上を図るため、各種遊歩道マップを作成するとともに観光客が利用する施設の環境美化を継続していく。
・国定公園内に美ヶ原高原があるため、国定公園内の施設修繕等については、県と連携しながら取り組む必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	美ヶ原高原入込数				
指標の設定理由	進捗状況が測れるため				
目標値	453,800	525,800	558,600	560,000	562,000
実績値	453,800	525,800	558,600	491,800	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	87.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	43,580	39,900	39,516	25,474	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	43,580	39,900	39,516	25,474	
人件費(千円)	7,690	7,590	7,550	7,600	
正規	7,690	7,590	7,550	7,600	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	51,270	47,490	47,066	33,074	0
前年度比	-	92.6%	99.1%	70.3%	-

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	観光施設営繕事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	観光施設営繕費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市内の所管観光施設の修繕、営繕工事を行い、利用者が安全に安心して利用できるよう施設等の維持管理を行う。

市内の所管施設等の維持管理や遊歩道の倒木撤去等の整備工事を行うもの。
令和元年度は、県の補助事業として、美ヶ原高原の歩道の整備工事を実施した。

- 1 需用費(公衆トイレ清掃用具など)
- 2 修繕
 - 恋人の丘サラダマーケット(波田地区)トイレ漏水修理
 - 美ヶ原高原売店揚水ポンプ盤修繕
 - 美ヶ原温泉駐車場トイレバルブ修繕 等
- 3 営繕工事
 - 梓水苑駐車場整備工事
 - 竜島温泉玄関改修工事
 - 中信高原道路(歩道)整備工事
 - 中信高原道路(歩道)道標移設工事
 - 白糸の湯浴場循環ろ過装置改修工事
 - 梓川地域休養施設(松香寮)ろ過材等交換工事
 - 梓川地域休養施設(松香寮)空調機更新工事
 - 遊歩道倒木撤去工事
 - 美ヶ原アスレチック園地赤松枯れ木伐採工事 等

< 現状に対する認識 >

施設の老朽化に伴い、突発的な故障が発生し、早急な対応が必要とされるため、利用者や指定管理者に不便が生じないよう、財源確保を行っていくことが必要である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
指標の設定理由	施設の維持管理による利用者の来訪を測れるため				
目標値	5,280,000	5,350,000	5,420,000	5,490,000	5,600,000
実績値	5,115,958	5,122,699	5,074,807	4,979,849	
達成度	96.9%	95.8%	93.6%	90.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	90,246	20,619	16,207	18,285	0					
国・県	4,057			1,004						
利用者負担金										
その他										
一般財源	86,189	20,619	16,207	17,281						
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	97,936	28,209	23,757	25,885	0					
前年度比	-	28.8%	84.2%	109.0%	-					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	山岳観光施設整備事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	山岳観光施設整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

山岳地域の遊歩道や登山道等の維持管理等を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 美ヶ原高原ロングトレイルのPR
四賀の金山町、美ヶ原、鉢伏山から牛伏寺砂防ダムに至る約4.5kmの遊歩道及び登山道を「美ヶ原高原ロングトレイル」と称し、東山一帯の魅力ある豊かな自然を楽しんでもらうため、各コースの踏破証を発行するなど周知し、誘客促進を行うもの。
- 遊歩道、登山道の整備を行うもの
遊歩道等整備のための消耗品費(トラロープなど)
国有林内の遊歩道等の借上料
遊歩道等の整備管理委委託料
< 令和元年度実績 >
ア 美ヶ原ロングトレイル
イ 美鈴湖自転車ロード
ウ 金松寺山登山道 等

< 現状に対する認識 >

観光客や利用者が安全に利用できるよう、登山道等の継続的な整備及び維持管理が必要である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
指標の設定理由	遊歩道や登山道の整備による利用者の来訪を数値で測れるため				
目標値	5,280,000	5,350,000	5,420,000	5,490,000	5,600,000
実績値	5,115,958	5,122,699	5,074,807	4,976,849	
達成度	96.9%	95.8%	93.6%	90.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	4,941	35,884	6,272	5,787	0					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,941	35,884	6,272	5,787						
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	12,631	43,474	13,822	13,387	0					
前年度比	-	344.2%	31.8%	96.9%	-					

山岳觀光課

課長 二木 昭彦

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	山岳観光推進事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	山岳観光推進事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み		北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

山岳観光事業の開催及び山岳イベント等を支援し、山岳地域への誘客促進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 乗鞍岳春山バス事業
冬期閉鎖期間中の県道乗鞍岳線を1日5往復運行し、雪を目的とした観光客の誘客を図るもの(4/27~6/30)
- 乗鞍高原周遊バスの運行
乗鞍岳マイカー規制に対する観光振興策(7~10月までの繁忙期16日間)
- 山岳診療所開設支援事業(診療所8カ所、山小屋6カ所)
山岳診療所を開設する大学及び山小屋に報償費を支出するもの
- 各種イベント等への負担金
上高地開山祭(4/27)、閉山式(11/15)
ウェストン祭(6/2)
乗鞍高原索道事業
全国山の日協議会
- 上高地地区春山除雪費用補助
開山のため上高地町会が実施する遊歩道除雪費用の1/2を補助するもの
- 岳都・松本「山岳フォーラム」(新型コロナウイルス対策のため開催中止)
山の魅力や安全登山の情報等を岳都・松本から発信するもの

< 現状に対する認識 >

山岳観光都市として、観光資源を活用した既存のイベントを支援するとともに、山や自然の魅力、課題を取り上げる事業の開催など継続的に取り組んでいく必要がある。
観光誘客にあたり、効果的な情報発信手段の活用を検討する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	安曇・奈川エリア主要観光地の延利用者数				
指標の設定理由	事業の成果に直結する数値のため				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700	2,063,400	2,049,300	2,053,300	
達成度	96.8%	98.9%	97.3%	96.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	12,928	13,849	12,638	11,454	14,040
国・県					
利用者負担金					
その他	100	155	164	130	180
一般財源	12,828	13,694	12,474	11,324	13,860
人件費(千円)	9,115	9,035	11,685	9,835	
人工	1	1	1.45	1	
正規	7,690	7,590	10,948	7,600	
嘱託	1,425	1,445	738	2,235	
0.5	0.5	0.5	0.25	0.75	
合計コスト +	22,043	22,884	24,323	21,289	14,040
前年度比	-	103.8%	106.3%	87.5%	-

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	山岳観光団体育成事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み		北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	山岳観光団体育成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

山岳が抱える様々な課題の解決に向けて共に取り組むため、当該団体へ負担金を支出するもの
また、山岳観光の振興を図る団体に対して、支援するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 負担金	北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会 登山者の遭難救助及び事故防止活動啓発活動に対するもの 北アルプス登山道等維持連絡協議会 登山道等の維持、管理に対するもの 上高地管理用道路維持管理協議会 上高地の梓川右岸の管理用道路整備に対するもの 北アルプス登山案内人組合連合会 安全登山の推進に対するもの 乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会 乗鞍岳の自然環境保全等の活動に対するもの 上高地自動車利用適正化連絡協議会 上高地の自然環境保全等の活動に対するもの
2 補助金	上高地を美しくする会 上高地の美化活動に対し支援するもの 乗鞍高原を美しくする会 乗鞍高原の美化活動に対し支援するもの

< 現状に対する認識 >

共に事業に取り組む団体に対しては、積極的に市の施策や地域の実情に配慮しながら、課題の解決に努めていく必要がある。
補助金を支出している団体に対しては、事業が適切に実行、運営されているか必ず確認する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	安曇・奈川エリア主要観光地の延利用者数				
指標の設定理由	事業の成果に直結する数値のため				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700	2,063,400	2,049,300	2,053,300	
達成度	96.8%	98.9%	97.3%	96.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	20,381	20,376	18,947	10,576	10,580
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	20,381	20,376	18,947	10,576	10,580
人件費(千円)	8,403	8,313	10,535	5,290	
正規	7,690	7,590	9,060	3,800	
嘱託	713	723	1,475	1,490	
人工	1	1	1.2	0.5	
人工	0.25	0.25	0.5	0.5	
合計コスト +	28,784	28,689	29,482	15,866	10,580
前年度比	-	99.7%	102.8%	53.8%	-

事務事業評価票

事務事業名	山岳観光施設整備事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	山岳観光施設整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

観光客の多様化するニーズや時代の変化を的確かつ柔軟に捉え、老朽化している既存施設や資源を整備、改善し、自然豊かな安曇・奈川地区の観光施設を計画的に整備するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 主な整備	上高地梓川左岸歩道応急対応 市営沢渡第4駐車場整備工事及び料金システム更新工事 市営沢渡第2駐車場料金システム更新工事 乗鞍木道補修工事 白沢橋補修工事 渋沢温泉送湯ポンプ更新工事 渋沢温泉送湯ポンプ操作盤改修工事 白骨公共野天風呂汚水中継ポンプ更新他工事 いがやレクリエーションランドオートキャンプ場整備工事 アルプスの郷 バルコニー防水改修工事 白骨温泉公共野天風呂汚水ポンプ制御盤取替工事
2 主な修繕	白骨温泉公共露天風呂修繕 乗鞍観光センター漏水修理

< 現状に対する認識 >

山間部の施設は、年間の施工可能な時期が限定されるため、慎重に年次計画を立案する必要がある。
突発的かつ早急な対応を要する案件が多いため、迅速に処理を行う必要がある。

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み		日本縦断の超広域、北陸・飛騨との広域観光
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	安曇・奈川エリア主要観光地の延利用者数				
指標の設定理由	事業の成果に直結する数値のため				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700	2,063,400	2,049,300	2,053,300	
達成度	96.8%	98.9%	97.3%	96.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	290,120	392,096	74,106	78,397	19,280	
国・県	2,808		17,050	4,266	580	
利用者負担金						
その他	194,400	275,600				
一般財源	92,912	116,496	57,056	74,131	18,700	
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	5,268	人工
正規	7,690	1	7,590	1	4,530	0.6
嘱託	0		0		738	0.25
					12,890	人工
					11,400	1.5
					1,490	0.5
合計コスト +	297,810	399,686	79,374	91,287	19,280	
前年度比	-	134.2%	19.9%	115.0%	-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	アルプスエリア観光施設事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み		北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	アルプスエリア観光施設事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

上高地・沢渡・白骨・乗鞍・奈川地域に設置されている観光施設や公衆トイレ等の設置及び維持管理等を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 観光施設の維持管理
いがやレクリエーションランド
乗鞍観光センター
沢渡駐車場
乗鞍自然保護センター
安曇アクティブプラザ・アルプスの郷
白骨温泉観光案内所
白骨温泉公共野天風呂
番所屋内多目的広場
渋沢温泉
奈川マレットゴルフ場
登山道、遊歩道
除雪、草刈り等
2 公衆トイレの維持管理(14カ所)
安曇アクティブプラザ・アルプスの郷、島々、島々谷(二俣)、前川渡、白骨温泉、番所大滝、鈴蘭、三本滝、大雪溪、大正池、明神池、徳沢、釜トンネル入り口仮設、乗鞍位ヶ原仮設

<現状に対する認識>

多くの観光客が利用する施設のため、環境美化や衛生面に配慮し、利用しやすい環境整備を心掛け、効率的な施設の維持管理に努める必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	安曇・奈川エリア主要観光地の延利用者数				
指標の設定理由	事業の成果に直結する数値のため				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700	2,063,400	2,049,300	2,053,300	
達成度	96.8%	98.9%	97.3%	96.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	61,849	67,733	85,881	101,588	108,320
国・県	2,212	2,212	2,212	2,210	2,270
利用者負担金	693	693	670	670	680
その他	40,648	44,080	44,452	53,010	60,930
一般財源	18,296	20,748	38,547	45,698	44,440
人件費(千円)	9,115	9,035	6,005	7,525	
正規	7,690	7,590	4,530	3,800	
嘱託	1,425	1,445	1,475	3,725	
合計コスト +	70,964	76,768	91,886	109,113	108,320
前年度比	-	108.2%	119.7%	118.7%	-

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	焼岳小屋施設整備事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み		北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	焼岳小屋施設整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

登山者の利便性の向上、遭難防止及び安全登山の推進のため、焼岳山域で重要な役割を担う焼岳小屋の整備を進めるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 焼岳小屋の概要
建年 544
建物 宿泊棟(25人収容)及びトイレ棟
営業期間 6月中旬~10月中旬
宿泊者数 628人(R1)
2 工事概要
宿泊棟及びトイレ棟の改築整備
3 事業経過
H28~29 基本計画策定
H30 測量、地質調査、実施設計
R1 改築工事入札不調

< 現状に対する認識 >

入札不調の原因を踏まえ、社会情勢等の動向を見極めつつ、対応を検討する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	安曇・奈川エリア主要観光地の延利用者数				
指標の設定理由	事業の成果に直結する数値のため				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700	2,063,400	2,049,300	2,053,300	
達成度	96.8%	98.9%	97.3%	96.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	27,384		24,020		22,873		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	27,384		24,020		22,873		0			
人件費(千円)	18,230	人工	15,469	人工	12,405	人工	3,800	人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2	10,193	1.35	3,800	0.5		
嘱託	2,850	1	289	1	2,213	0.75	0			
合計コスト +	45,614		39,489		35,278		3,800		0	
前年度比	-		86.6%		89.3%		10.8%		-	

事務事業評価票

事務事業名	奈川観光施設事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	奈川観光施設事業
予算中事業名	奈川観光施設事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民等のウィンタースポーツの振興、地域の活性化及び雇用の創出を図るため、野麦峠スキー場の更なる利用促進に取り組むもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	スキー場索道整備計画に基づく令和元年度工事	
	リフト改修工事	40,590千円
	高圧受電設備工事	7,348千円
2	スキー場入込状況	
	H28年度	35,388人
	H29年度	32,448人
	H30年度	26,885人
	R元年度	27,724人

< 現状に対する認識 >

自然環境の影響を受けやすく、降雪量が営業期間や入込みに直接影響するため、その対応策を検討する必要がある。
施設や設備及び備品は老朽化が進んでいるため、計画的な改修等が必要である。

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み			北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
松本版総合戦略			高次広範の観光戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	安曇・奈川エリア主要観光地の延利用者数				
指標の設定理由	事業の成果に直結する数値のため				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700	2,063,400	2,049,300	2,053,300	
達成度	96.8%	98.9%	97.3%	96.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	116,871	116,497	203,012	118,068	212,100
国・県					
利用者負担金					
その他	66,700	63,000	86,800	47,900	118,300
一般財源	50,171	53,497	116,212	70,168	93,800
人件費(千円)	7,690	7,590	7,550	7,600	
正規	7,690	7,590	7,550	7,600	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	124,561	124,087	210,562	125,668	212,100
前年度比	-	99.6%	169.7%	59.7%	-

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	上高地観光施設事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み		北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

<予算上の位置付け>

会計名	上高地観光施設事業
予算中事業名	上高地観光施設事業

<事業の狙い>

事業計画年度	~
--------	---

上高地観光施設事業は、地域協働の重要な施設として、また、本市の観光戦略を直接実現する、最前線の観光事業施設として市直営を堅持し、真心のこもったおもてなしを心がけるとともに、市民の利用促進を図りながら、信頼され選ばれる施設として健全な経営に努めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 姉妹都市に対する特別割引プランの実施 上高地観光施設事業ホームページのリニューアル アルペンホテルの取組み ア オンラインシステムや予約サイトを通じた空室提供及び空室管理 イ 新たなツアーの造成のため、旅行会社への営業を実施 上高地食堂の取組み 季節メニューやセットメニューの考案 徳沢ロッジの取組み SNSを利用した情報発信による集客促進 																				
2 施設別利用客数	<table border="1"> <tr> <td>アルペンホテル</td> <td>H30</td> <td>8,407人</td> <td>R1</td> <td>8,625人</td> </tr> <tr> <td>上高地食堂</td> <td>H30</td> <td>119,459人</td> <td>R1</td> <td>118,664人</td> </tr> <tr> <td>徳沢ロッジ</td> <td>H30</td> <td>4,537人</td> <td>R1</td> <td>4,663人</td> </tr> <tr> <td>焼岳小屋</td> <td>H30</td> <td>777人</td> <td>R1</td> <td>697人</td> </tr> </table>	アルペンホテル	H30	8,407人	R1	8,625人	上高地食堂	H30	119,459人	R1	118,664人	徳沢ロッジ	H30	4,537人	R1	4,663人	焼岳小屋	H30	777人	R1	697人
アルペンホテル	H30	8,407人	R1	8,625人																	
上高地食堂	H30	119,459人	R1	118,664人																	
徳沢ロッジ	H30	4,537人	R1	4,663人																	
焼岳小屋	H30	777人	R1	697人																	

<現状に対する認識>

働き方改革に伴い、観光施設事業全体での従業員体制の見直しや意識改革に取り組む必要がある。
各施設の利益率向上を目指すとともに、時代のニーズを意識しながら、岳都松本のシンボリック事業として、誘客と地域貢献に努める必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	安曇・奈川エリア主要観光地の延利用者数				
指標の設定理由	事業の成果に直結する数値のため				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700	2,063,400	2,049,300	2,053,300	
達成度	96.8%	98.9%	97.3%	96.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	355,280	332,024	370,490	405,970	411,290
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	355,280	332,024	370,490	405,970	411,290
人件費(千円)	8,403	8,313	9,060	7,600	
正規	7,690	7,590	9,060	7,600	
嘱託	713	723	0	0	
合計コスト +	363,683	340,337	379,550	413,570	411,290
前年度比	-	93.6%	111.5%	109.0%	-

労政課

課長 山岸 修

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	0720000
-----	-------	----	-----	-----	---------

事務事業名	技能功労者褒賞表彰関係事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	技能功労者褒賞事業関係事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	~
長年、技能者として技術の向上、後継者の育成等業界の発展に功績顕著で他の模範と認められる方を褒賞することによって、技能者の社会的地位及び技能水準の向上を図るもの。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市に居住する技能者で、技術の向上、後継者の育成等、業界の発展に功績顕著で他の模範と認められる方を毎年褒賞 1 褒賞の対象者 60歳以上の男性または50歳以上の女性の方 対象となる職種(40職種)に30年以上従事し、その技術の高さが広く認められている方 技能職団体において、指導的立場で後継者の育成に功績のあった方 2 本年度の褒賞者 11職種16人 3 褒賞までの経過 ・6月下旬 技能職団体へ候補者推薦の依頼、広報まつもとで周知 ・10月11日 褒賞審査会(技能職団体、市職員(副市長含む))を開催し被褒賞者を決定 ・11月23日 技能功労者褒賞式典開催 ・2月10日 「労政まつもと」に褒賞式典の記事を掲載して市内の中小企業へ周知 4 褒賞基準の一部見直し 男女別に定めていた被褒賞者の年齢基準を見直し、褒賞要綱を一部改定(令和2年4月1日施行) ・改正前 「60歳以上の男性または50歳以上の女性」 ・改正後 「60歳以上」
--

<現状に対する認識>

・長年培ってきた技能者の技や伝統技能が尊重される社会、技能者が活躍し若者が技能者を目指す社会を作っていくことが必要である。 ・被褒賞者は減少傾向にあるが、単にその職を長く務めたということのみならず、褒賞制度の趣旨に基づき、技能職団体の意見も聴きながら適正な褒賞を継続していく。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	指標設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	405	270	248	275	430					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	405	270	248	275	430					
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工	2,280	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	2,712		2,547		2,513		2,555		430	
前年度比	-		93.9%		98.7%		101.7%		-	

事務事業評価票

事務事業名	ものづくり人材育成事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	ものづくり人材育成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

平成24年に本市で開催された技能五輪全国大会を契機に、次代に繋がる人材育成策として、市内の学校、企業、労働団体及び行政等で構成する連絡会を設立し、若年者の人材育成や地元への就職、定着を支援するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 出前講座
市内の小学校3年生を対象に、「ものづくりマイスター」を講師として派遣し、角材で椅子を製作(開催校 3校 7クラス)
- 進路情報誌「中学生が体験! 松本の『ものづくり』」の制作
若年者の技能尊重気運や、日本の産業を支える「ものづくり」に若い世代から職業として関心を持ってもらうため、市内の中学2年生の職場体験学習での感想や受け入れ企業の代表者からのメッセージを取材し、編集した冊子を市内全生徒に配布(発行部数 8,000冊)
- 企業見学会
市内のものづくり企業の協力により、高校生や大学生を対象とした企業見学会を実施。見学会終了後、希望者を対象に就職対策セミナーを開催(開催数 2回、訪問企業数 5社、参加者数 21人)
- 長野県松本技術専門校の技能奉仕活動の支援
長野県松本技術専門校の学生が実施する、技能奉仕活動の材料費の補助等による支援(大久保原公園のベンチ補修)
- 技能五輪全国大会出場者への支援
出場選手の育成に要する経費を、事業主に補助金として支出するなどの支援を実施(本市からの出場者 3人)

< 現状に対する認識 >

・ものづくり分野の職業を目指す若者は減少傾向にあり、このままでは技能の継承が困難となり、地域産業の持続的発展にも影響を及ぼすことが懸念される。技能尊重、若者が職人を目指す社会を作っていくことが必要である。
・連絡会の発足以降、毎年のように新たな事業に取り組んでおり、特に若年層への啓発という観点から所期の目的は果たしているが、今後も連絡会の構成団体と協働で事業を進めていく。

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	0720000
-----	-------	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み		若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		新しい働き方・雇用の創出

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	就職した高校生の市内企業への就職率				
指標の設定理由	市内企業の担い手の確保のため				
目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
実績値	46.4%	47.5%	44.9%	45.2%	
達成度	92.8%	95.0%	89.8%	90.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	3,893	4,231	1,831	3,060	2,760
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	3,893	4,231	1,831	3,060	2,760
人件費(千円)	2,877	2,855	3,445	2,876	
正規	2,307	2,277	2,265	2,280	
嘱託	570	578	1,180	596	
合計コスト +	6,770	7,086	5,276	5,936	2,760
前年度比	-	104.7%	74.5%	112.5%	-

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	0720000
-----	-------	----	-----	-----	---------

事務事業名	勤労者福祉センター管理
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	勤労者福祉センター管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

勤労者の福祉増進や市民の交流促進を図るための、中心市街地の重要な貸館施設として、社会情勢に順応し、安心安全に使用していただくよう適正な管理運営を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 利用促進の施策
 - 市ホームページへの掲載
 - パンフレットの作成 400部
 - 利用者アンケートの実施
- 運営協議会の開催
 - 施設の円滑な管理運営を行うため、課題等の協議を実施
 - 市内関係団体の代表10名で構成
- 施設運営・点検・管理
 - 会議室(11室)と備品の貸出し及び施設の管理・点検を実施
 - 使用の申請受理及び許可事務
 - 使用料の収納、減免及び還付事務
 - 各会議室とそれに伴う備品及び施設の管理・点検業務

< 現状に対する認識 >

・指定管理者制度の導入については、市の全体計画の中で方向性を検討
 ・大規模改修に伴い、H29年7月からH30年3月まで9カ月の長期休館となったが、利用率が70%超と、改修前より約10%上昇しており、使用頻度が比較的高い施設といえる。
 ・駐車場の狭隘についての意見があり、整備にあたっては有償化も考えられるが、市内の他施設の影響も考慮しつつ、慎重な対応が必要と考えている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	指標設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	15,793		33,197		13,529		16,900		17,970	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	15,793		33,197		13,529		16,900		17,970	
人件費(千円)	22,505	人工	15,215	人工	22,475	人工	22,650	人工		人工
正規	15,380	2	12,903	1.7	15,100	2	15,200	2		
嘱託	7,125	2.5	2,312	0.8	7,375	2.5	7,450	2.5		
合計コスト +	38,298		48,412		36,004		39,550		17,970	
前年度比	-		126.4%		74.4%		109.8%		-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	0720000
-----	-------	----	-----	-----	---------

事務事業名	勤労者福祉事業
-------	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み			若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり	
			松本版総合戦略			新しい働き方・雇用の創出

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	勤労者福祉事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

各種事業・制度に対する補助金交付や利子補給、掛金の一部補助等を行うことにより、勤労者の福利厚生の実・増大を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 勤労者資金融資
労働金庫と協調した、勤労者に対する資金融資
- 勤労者文化厚生事業
松本地区労働者福祉協議会が行う、メーデー、体育・文化・厚生事業等の推進に対する補助
- 建設国民健康保険組合補助金
松本建設労働組合、松筑建設労働組合が行う建設国保に係る事務費の一部補助
- (一財)松本市勤労者共済会の育成
市内の中小企業の従業員と事業主を対象に、各種福利厚生事業、共済事業及び生活資金融資などを行う共済会に対する補助
- 中小企業退職金共済・特定退職金共済掛金補助
国が行う中退共制度、全国商工会議所が行う退職金共済制度の加入促進を目的とした掛金の一部補助
- 勤労者住宅建設資金利子補給
労働金庫から融資を受けて市内に住宅を新築又は増改築した場合に、利子の一部補給

< 現状に対する認識 >

・労働者の福利厚生のための互助組織を持たない、中小・小規模事業者でも安心して働くための支援として、補助金交付や利子補給を通じて一定の役割を果たしている。
・勤労者資金融資、住宅利子補給及び退職金共済掛金の一部補助制度の利用率向上に向け、周知に努めたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	中小企業退職金共済補助事業所数				
指標の設定理由	退職金制度の整備は中小企業の従業員の福利厚生に資するため				
目標値	300	300	300	300	300
実績値	293	265	252	255	
達成度	97.7%	88.3%	84.0%	85.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	124,648		118,417		113,470		119,190		39,050	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	124,648		118,417		113,470		119,190		39,050	
人件費(千円)	5,184	人工	5,132	人工	7,385	人工	5,156	人工		人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	6,795	0.9	4,560	0.6		
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2	596	0.2		
合計コスト +	129,832		123,549		120,855		124,346		39,050	
前年度比	-		95.2%		97.8%		102.9%		-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	0720000
-----	-------	----	-----	-----	---------

事務事業名	雇用対策事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	雇用対策事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
主な取組み		若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		新しい働き方・雇用の創出

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

合同就職面接会の開催、法定雇用率を達成した企業の報奨、ITスキルの習得支援等を実施することにより、地元企業への就業促進並びに障害者、子育て中の女性等の就業の促進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 雇用対策事業、職業訓練事業
雇用促進機関等の育成及び事業支援のため経費の一部を補助
- 障害者雇用報奨
障害者を新規に雇用し、法定雇用率を達成した事業主を報奨(21社)
- 新社会人激励のつどい
市内企業の新社会人を対象に松本商工会議所等と共催(29社、219人)
- コワーキングスペース活用型人材育成事業
短時間労働やクラウドソーシングといった新しい働き方に従事できるよう、コワーキングスペースを活用したITスキル向上研修を実施(受講者数32人)
- 労働相談支援事業
労使間トラブルをはじめとする日常生活全般の相談対応(NPO法人ユニオンサポートセンターに委託、令和元年度相談件数3,435件)
- IJUターン促進事業
東京及び長野市でのインターンシップフェアに参加し、学生へ就職に関する情報提供や個別相談に応じる。
- 「労政まつも」の発行
労働諸行政の動きや制度・法改正の情報等を掲載し、市内の従業員100人以下の中小企業に配布(年3回発行)

< 現状に対する認識 >

・クラウドソーシングや在宅勤務等、就労形態が多様化する中、就労の機会の確保に向けた側面的な支援を行うことで、一定の役割を果たしている。
・地方創生交付金を活用したコワーキングスペース活用型の事業について、交付金終了後(R3)の在り方について検討が必要。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	コワーキングスペース活用型人材育成事業受講者数(人)				
指標の設定理由	在宅ワーカーなどの新しい働き方の担い手を育成するため				
目標値	16	32	32	32	32
実績値	16	32	34	32	
達成度	100.0%	100.0%	106.3%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	7,734	9,277	8,387	11,270	16,640
国・県	2,381	1,847	1,874	1,875	1,895
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,353	7,430	6,513	9,395	16,640
人件費(千円)	4,415	4,373	4,365	4,396	
正規	3,845	3,795	3,775	3,800	
嘱託	570	578	590	596	
合計コスト +	12,149	13,650	12,752	15,666	16,640
前年度比	-	112.4%	93.4%	122.9%	-

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	0720000
-----	-------	----	-----	-----	---------

事務事業名	仕事と家庭の両立促進事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み		若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		新しい働き方・雇用の創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	仕事と家庭の両立促進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

市民一人ひとりが、やりがいや充実感を感じながら働き、ライフステージに応じて多様な生き方の選択・実現が図られるよう、労使双方で、働きやすく継続して就業できる職場の環境づくりを推進するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ワーク・ライフ・バランス推進セミナーの開催
 セミナーの開催により企業側と労働者に対してワーク・ライフ・バランスの啓発をする。(年1回開催 募集人数 50人)
 令和元年度は下記のとおりワーク・ライフ・バランス推進セミナーを計画したが、新型コロナウイルス感染防止のため開催を中止。
 開催日 令和2年3月中旬
 演題 男性の育児休暇について
 講師 依頼中に中止の判断
 周知方法 新聞広告、広報まつもと、市ホームページなどとおして、企業、労働団体、勤労者関係団体、行政機関などに周知を予定
- 普及啓発活動
 「仕事と家庭の両立支援事業事例集」を勤労者福祉センター内に設置
 県雇用労働課作成のパンフレットを勤労者福祉センター内に設置

<現状に対する認識>

・ワーク・ライフ・バランスは、男女共同参画など多方面からのアプローチが必要であり、関係課とも連携を図りながら、企業と労働者のそれぞれが理解して実践していけるよう啓発していく。
 ・「働き方改革」と並行した取り組みが必要。

<指標の達成状況>

総合評価

E

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	セミナー参加人数(人)				
指標の設定理由	セミナーに対する関心を高め、仕事と家庭の両立を促進していくため。				
目標値	50	50	50	50	50
実績値	40	20	25	-	-
達成度	80.0%	40.0%	50.0%	-	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	269	244	209	0	240
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	269	244	209	0	240
人件費(千円)	2,877	2,855	2,855	596	
正規	2,307	2,277	2,265	0	
嘱託	570	578	590	596	
合計コスト +	3,146	3,099	3,064	596	240
前年度比	-	98.5%	98.9%	19.5%	-

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	0720000
-----	-------	----	-----	-----	---------

事務事業名	勤労会館管理
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	勤労会館管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

勤労者の生活及び雇用安定を図るため、勤労者の活動拠点となる貸館施設として、社会情勢に順応しつつ適正な管理運営を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 利用促進の施策
市ホームページへの掲載
使用者アンケートの実施
- 施設運営・点検・管理
会議室と備品の貸出し及び施設の管理・点検を実施
使用の申請受理及び許可事務
使用料の収納、減免及び還付事務
各会議室とそれに伴う備品及び施設の管理・点検業務
- 施設運営会議の開催
適性な施設運営等に関する協議を実施

< 現状に対する認識 >

・勤労者福祉センターの大規模改修に伴い、H29年7月からH30年3月まで9カ月の長期休館となったが、使用率が60%超と、休館前と同水準で推移しており、使用頻度が比較的高い施設といえる。
・隣接する勤労者福祉センターと一体的に使用している駐車場について、狭隘の意見があり、整備にあたっては有償化も考えられるが、市内の他施設の影響も考慮しつつ、慎重な対応が必要と考えている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	指標設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	3,370		1,659		1,224		1,283		1,300	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,370		1,659		1,224		1,283		1,300	
人件費(千円)	4,700	人工	2,855	人工	4,660	人工	4,694	人工		人工
正規	3,845	0.5	2,277	0.3	3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	855	0.3	578	0.2	885	0.3	894	0.3		
合計コスト +	8,070		4,514		5,884		5,977		1,300	
前年度比	-		55.9%		130.4%		101.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	健康経営促進事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	勤労者福祉事業

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	07200000
-----	-------	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち
基本施策(個別目標)	515	健康経営の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

H29 ~

企業等が、従業員の心身の健康を、経営に直結する資産と捉え、従業員の健康づくりへ積極的に投資する「健康経営」が市内の多くの企業で取り込まれるよう普及促進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 健康経営セミナーの開催 健康経営への理解を深めて、実践してもらうためのセミナーを中信労政事務所と共催で実施 開催日 令和元年10月30日(水) テーマ 明日からはじめよう健康経営 講師 新佐 絵史氏(株)浅野製版所企画部主任・東京都 例発表 シナノカメラ(株)(寿北) 城東冷機サービス(株)(神林) いずれも2019健康経営優良法人認定企業 参加者 40人
2 経営者・事業主への健康経営の推進 事業所訪問等により経営者・事業主に対し直接、健康経営を推進(説明した事業主95社)
3 その他の方法による推進 ・FMまつもとでの広報 ・市民タイムス特集号への記事の掲載 ・リーフレットを労政まつもとへ同封し、市内中小企業900社へ送付

< 現状に対する認識 >

・協会けんぽの健康づくりチャレンジ宣言取組み企業や健康経営優良法人認定企業は増加してきており、徐々に普及してきていると認識。
・従業員の健康増進だけでなく、働き方改革、企業の業績や生産性、企業イメージのアップにも寄与することを事業主に理解してもらえるようPRを強化していく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市内の協会けんぽ「健康づくりチャレンジ宣言」行った企業数				
指標の設定理由	第10次基本計画の施策の成果目標				
目標値	0	40	60	80	100
実績値	0	25	56	74	
達成度	#DIV/0!	62.5%	93.3%	92.5%	-
成果指標(指標名)	市内の健康経営優良法人(中小規模法人部門)認定企業数				
指標の設定理由	第10次基本計画の施策の成果目標に準じるもの				
目標値	0	10	20	40	80
実績値	0	8	28	42	
達成度	#DIV/0!	80.0%	140.0%	105.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	0	0	207	325	450					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			207	325	450					
人件費(千円)	0	人工	3,795	人工	3,775	人工	3,800	人工		人工
正規	0		3,795	0.5	3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	0		3,795		3,982		4,125		450	
前年度比	-		-		104.9%		103.6%		-	

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	0720000
-----	-------	----	-----	-----	---------

事務事業名	市長と労働団体との懇談会
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>

事業計画年度

~

市政要望等について、市長をはじめ理事者との相互理解を深めるとともに、労働行政の推進及び今後の連携課題を探るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

労働等に関する諸問題をテーマに懇談会を開催(年1回開催)
令和元年度は下記のとおり開催した。

- 開催日 令和元年11月25日(月)
- 懇談項目
 - ・就業規則の整備に関する相談・助言機能強化と助成金の創設について
 - ・アスベスト対策について
 - ・人口減少に対する取組みについて
 - ・街づくりとしての道路整備について
 - ・悪質クレーム対策について
 - ・建設業の担い手確保のための施策について
- 出席者
 - 市:市長、副市長、関係部長(政策部長、健康福祉部長、商工観光部長、建設部長)
 - 労働団体:松本地区労働者福祉協議会加盟6団体(連合松本他5団体)

<現状に対する認識>

・労働団体を通じて労働者の直面している課題等について、市へ提言できる機会となっており、継続的に実施していくことが必要。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	目標設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	0	0	0	0	0					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工	2,280	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	2,307		2,277		2,265		2,280			0
前年度比	-		98.7%		99.5%		100.7%			-